

# 焼津市立大富中学校 職業講話学習レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成30年7月12日(木)

7月12日(木) 焼津市立大富中学校に訪問し、3年生45名の皆さんに、埋蔵文化財の重要性やそれに携わる職業の意義などについてお話をさせていただきました。

## まずは 自己紹介



聞きなれない「考古学」や「埋蔵文化財」といった言葉に戸惑いながらも、「どんな話をしてくれるのだろう」「どんな仕事なのだろう」興味津々、耳を傾けてくれました。



## センターの役割から

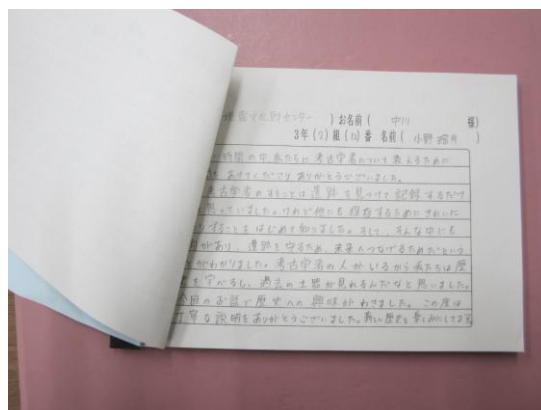
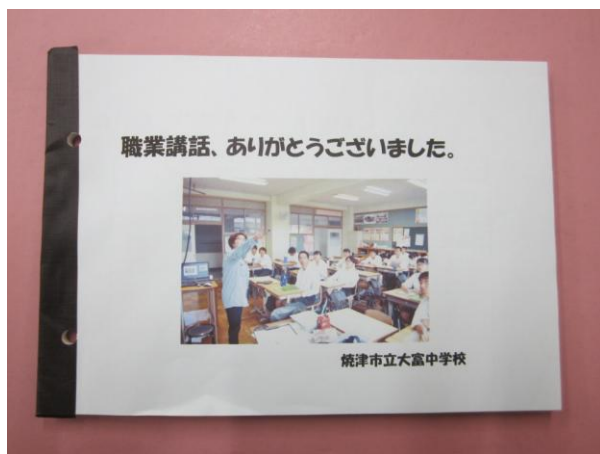
### 歴史に係わる仕事の楽しさまで

センターの業務である「遺跡の発掘調査・出土品の整理・報告書の作成」に加えて、出土文化財の「保存・管理・活用」などの埋蔵文化財に関する仕事の内容を簡単に説明しました。



地道な業務で、すぐに結果の出る仕事ではありませんが、どんな新しい発見があるのかワクワクする楽しさや、失われてしまう人々の生活の足跡である遺跡発掘への誇りなど、文化財を未来につなげる考古学の仕事の意義や役割ばかりでなく、やりがいや楽しさについてもお話ししました。

## お礼の手紙と感想文集



後日、お礼の文集を送っていただきました。